

第1回 志太地域流域治水協議会 対策メニューの検討について

令和3年1月8日

対策メニューの検討

● 県管理河川：流域治水プロジェクト・水災害対策プラン

対象外力 【短期対策】 近年洪水、【長期対策】 気候変動を考慮

河川対策
(長期対策を見据えた上で効果的な対策を抽出)

+

流域対策
(新たに検討)

+

ソフト対策
(減災協議会の取組から抽出)



【流域対策（主な内容）】

項目	内容
流出抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災調整池 ・ 校庭貯留 ・ ため池やかんがい排水用水路の治水利用 ・ 水田貯留（畦高上げによる貯留機能の向上） ・ 浸透ます、浸透管 ・ 建物内の雨水貯留施設 ・ 住宅等における各戸貯留 ・ 透水性舗装や道路高上げ ・ 一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務づけ ・ 自然地の保全等
土地利用・住まい方の工夫 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害危険区域の指定 ・ 立地適正化計画の見直し（居住誘導区域への災害リスクの考慮） ・ 二線堤等の整備や保全 ・ 高台整備 ・ 家屋移転 ・ 宅地高上げ、住宅高床化 ・ 電気設備のかさ上げ、止水板の設置 等

【ソフト対策】

【減災協議会の取組方針】

1. 防災教育を通じた地域住民の防災意識の向上
2. 水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保
3. 被害軽減のための迅速な水防活動・排水活動等

対策メニューの検討

【河川対策（主な内容）】

分類	対策(案)	対策(案)の概要
外水河川の対策	本川の水位低下対策	<ul style="list-style-type: none"> 樹木伐採、河道拡幅、河道掘削による水位の低下
	※排水ポンプの増強	<ul style="list-style-type: none"> 現況排水機場の増設、または新設 ポンプ2段階運転調整
内水河川の対策	内水河川堤防の嵩上げ	<ul style="list-style-type: none"> 内水河川の堤防を嵩上げし、越水氾濫量の低減、排水能力を高める
	流域分離	<ul style="list-style-type: none"> 既存水路網を活用した放水路等による洪水の集中を回避する
	内水河川改修	<ul style="list-style-type: none"> 内水河川の掘削等により河積を拡大する

※排水ポンプの増強については、排水量増に伴う本川及び支川の
 流下能力を増加させるための対策とあわせて検討する必要がある
 検討にあたっては、流域内での被害軽減のための対策を主とした
 検討を実施する必要がある。

対策検討の流れ

- ①浸水被害原因の分析
 - ・過去の浸水被害分析
 - ・氾濫シミュレーションによる分析
- ②対策目標の設定
- ③対策方針の検討（河川と流域分担量の設定）
- ④対策メニューの選定・効果検証（氾濫シミュレーション）
- ⑤役割分担の整理
- ⑥水災害対策プラン・流域治水プロジェクト（案）

とりまとめ

関係機関で主体的に取り
組む対策メニューを
別紙【「流域治水」の
対策メニュー一覧表】
から抽出・検討する

◎対策メニューは、下記のとおり選定
【短期対策】 5年程度で実施する対策
【中期対策】 10年程度で実施する対策
【長期対策】 20年程度で実施する対策